宣傳ビラを撒く

中國靑年黨が天津で

「大連特電十日整」中國常年監は、 国新聞も差押へるさいきまいてある、 日の繁都では撮影を繋ぜられた。 一般支那紙は撮影を繋ぜられた。 一、 蔣介石は就任以來貪官汚吏のを記した常願ピラを市中に撒布し しない て信多く現に南京政府は賄賂公 たない またで一次 ある。 日の繁都では撮影と

ての公金にて私腹を押やしてる、蔣介石は財政を公開せずずべ

將氏の六大罪惡

在氏の慰師なる浙江代表群松甫氏さ述べ拍手網に降職した後、蔣介

市黨部の

職氏の歸京な勤告するに勢めてると北神凞、李祁曹、吳稚暉氏等をと北神凞、李祁曹、吳稚暉氏等を

電民出2000年代 日本学院 1000年代 1000年代

科氏の要求せる條件は左の如く 暴の老同志に南京の要職を奥恩を私せず繁に返へせ なるな(寫真は孫科氏)

品を

氏は服學良、劉崎、阿殿鉄、阿成受したる南京電報によれば群介確 蔣氏提示の 妥協條件 氏は夏嶽惠氏に次の処く提続した。本認されたい

東支鐵道無償還附の代償に

ك

カラ

ン氏から要求

撮所安協を軽込んだ。電氏等の影響に對し左の二條件

壁新聞

ビラ新り

ロシアの文化に重大な役割

出版デーに成績發表

ーヨークの法律家トーマス、チャーリーカの産業者を代表するニュース・カの産業者を代表するニュー

い一の搭派撃に出版のため自動車にて bt 長その他多数の出迎へあり、しか とをして縣より部長一行五名は郭局長 間 とか とか

おいて本年度最初の建築工事入札。関東圏では九日午前十時土木課に

協定成立

世界產糖制限

ドボーン氏を主題さる常地におい

用のかゝる役所や機關はみなやし、民政器もいらん、無政器もいらん、無駄な質ん、民政器もいらん、無駄な質ん、民政器もいらん、無駄な質のというというと語した。

◆…「その代り、

次ぎかさせる」

今…「その代り、その歌呼でだい による金は、世命ば、保護の響 で出る金は、世命ば、保護の響

◆:「何に民政 ◆ 「斯う考へて来るさ前名無常 までの事務は そして更にこれを一般語ではない。 な市役所なンか問題ではない。 するかつ むちこれを一般語ではない。

文那はソウエート貨物を支那に関するがその代り 無償で還附するがその代り

なンピングを節行 せんさするもので

かいよくと支那でかいよくと支那で

職主十八あると 関では、 変々民族の各新聞あり、 更に木材・

が完成してないため、敬意を挑せ、 がに変れだけで何等の意味もない、十日吉林に行き同地日女官 民さ交職十四日輔長、長春で同 民さ交職十四日輔長、長春で同 大な敬意を拂つて十六日鞴連の鎌 にである、長春、吉林の領事に を外務省でも文句が出たやうな が大き、ここも今迄餘暇がなか

税にするここを の民族新聞において痛感される

酸酸物の結果特別の事故が生ぜ 開灤炭礦 の威術機能を従ったが、この倉職化、出版五ケ年散設の三ケ年遂行

時から第三次本會議を開き午後は 日は日曜日で休會と十一日午前九『南京特電十日薨』岡民會議は本

ズグラヂオによれば五月五日モスーハルビン特體九日盤一ハバロフ

地コルホーズで交流 コルホーズで交流

グヴにおいて「出版デー」が確さ

て居民代表會議に次の如く提案: 國民會議に提出

だ、今日こそます / 膨胀能をさせて「今でもが出さん情報とさせて「今でも

源すべき時ではないですなーと頭も温暖。

課に振り分ける、そして今まで て、か要な 事務は悉く本願な

です、此の意見に登成しま になぜるがよい。少じ過ぎかか になぜるがよい。少じ過ぎかか になぜるがよい。少じ過ぎかか

界へ緊急、少くさも五十萬の金がれに料理屋さん大倉で、大連花物

乏人から終り出された金だから世 落ちたそうだ。是れが同じ機な鍵界へ繁昌、少くさも五十萬の金が



東省指加

・平等條約廢棄宣言に

を通過したのであるが、途中荒 ル塩に下車して、草の上に惣帯 日本武尊の東征時分のことは 一覧の州を眺むやうに見なった。遥かの地で線に

性撤廢交渉の側面的牽制策

人視セず

たものでこの事質から趣てこの緊 電等の性質と同様なものであってて合識を遂げた結果直に上程され、 州人管轄條令及び法極突渉極難置って蔣介確氏の離に行き三人揃っ ら見ても去る四日政府が養表した使事かひそひそと話を為し二人揃 されるや表だ物らないがそれ等か でなったこの武蔵野の現版は、 つた時代を考へても、尺寸の空、 ではい程、 耕地さなり 種様常

旗の混血見だささへ噂されてゐる

對外的に

効果無し

たものでこの事質から観てこのなって合議を遂げた結果直に上程さ

見ても排日傾向を生ずる結果を導くやも知れず寒米さ事情を影にする日本さした選び全國統を緩を政府に絞して如何なる輸牲も懦まで經濟經交を競行するなど、際じてゐる點とた選び全國統を緩を政府に終して如何なる。 電際的効果如何の問題に機管主際でひより政府側に引利に導くための側面的牽制策でも那一流の緊急統領交の符為に對し來来その他では食器の名によつて心残等條級を經濟語するのは現在係職してゐるの符為に對し來来その他では食器の名によつて心残等條級を經濟語するのは現在係職してゐるの符為に對し來来その他では食器の名によつて心残等條級を經濟語するのは現在係職してゐるの符為に對し來来その他では食器の名によつて心残等條級を經濟學的力果如何の問題に

一飛側に有利に導くための側面的牽制策で支那一流の革命外交の上十一日の本今議に踏り通過を待つて直に中外に覚布するはずである、今回の上十一日の本今議に踏り通過を待つて直に中外に覚布するはずである、今回の諸緊急動議の結果起草委員により传成せられた不平等経統廢棄宣言草案は九日夜

經濟絕交

も解せず

関する宣言養表に関する緊急動議における不平等條約即時撤破に

おいて如何なる内容の電影が起草しのであつて從つて起草委員會には一般であってといて世草委員會に

れても純然たる野内師のもので野

櫻内商相から夫々内命

に置き驚糟け吸ぬ立の實施を監視してその本部をヘーグ

蔣氏の

孫科李石曾氏等婉曲に回避す

四ケ條の條件を提出

浙江兩代表が悲慣演説

場合により經濟絶父をなすべ 切の犠牲を惜まず政府の後

惨案を秘密外

光見の頭が、見来で して、人が脚鎖を して、人が脚鎖を して、人が脚鎖を であった。 大地流であった。 であった。 か標準の間にか、それすら するさ、鴟尾 足るのであり

地で、永い間に めつた。

のが、 附近電大の地なりこも、先づか、 附近電大の地なりこも、先で職人 女征服の景盛に、人交服第一響は、 生くも地の景盛に、人変服第一響がある。 高梁の滿家武蔵野に、湯崗子

野は、慶麦第 米宝人種の、戦争に勝つたより 道が、今日幾十萬石の米な産す 道が、今日幾十萬石の米な産す あて手をつけた光飲者で低すべ いたもると思へばいくのだ。滿 いまであると思へばいくのだ。滿 るさしても、結局は異邦の武蔵 (地球、それら大なる陳雲があったなる陳雲があ も、倚髪ある跳歌でないであら 五十年前には、一種の裕をさ

ものでなくて低であら

商工省諸縣案の 急速解決を圖る

あか別に置くかの 日にこれた解決するかは延いて機内 ので注目されてゐるが製鐵所合併 では国策上重要なる問題であるの で後二ケ月位の研究を要するさい

福井の强要の形なるも何れに許一、人絹上島問題、大阪、東京、大阪中央郷市均収容問題

南京入り

記制法 産業合理化上適用せんごする **慘化、輸出貿易振**

無極化、輸出貿易振 調整化、輸出貿易振 調整化、輸出貿易振 調整化、輸出貿易振 調整化、輸出貿易振 調整において膨緩 を 電管を で で で において の で において の で で において の で で に が に の で に の で に の に に の に 。 に の に の に の に の に の に の に の に 。 に

商議懇談會

の態度に注目してゐるので製鐵業者は櫻内蘭田

長稲域征夫氏を遡へて大連敵工會目下滯連中の掖務省施産局第一課

鐵道交涉開始期

大連港外着の豫定 てゐる



高氏不在で未定

日支官民と交驩のなに來た

長春にて 木村満鐵理事談

ない新職職態突男第三世の語。

共産黨からすつかり同志援ひに 大き皇帝の御前出演を騙ったったり これ を皇帝の御前出演を騙った。これ もその自己管際の新職網なんで… 日本へ來たらその手には乗らない

で來長したが公式輸送用遊へた記 機道之を水へ鳴った『長春電話』木村南鏡理事は九日二十時餐列車「郭局長電邸へ鳴った『長春電話』

鐵道交涉

準備整ム

岸田囑託赴奉

鞍山南一條町

撫順東六條通

出張

戦上に於けるミイラ使用の新戦術 なる新戦網ばかり發明される。 實 なる新戦網ばかり發明される。 實 はまだ酸明されないがの

居るがある。人を持く見るナイーという。 までけ 無と聯介なに私されて居た一変個照子らは主触する。するこ今

特計ス个文字、小型鉄的シストト煙突

關東廳諸工事

次の底から金た拾ふ名人院闘号 次の底から金を拾ふ客、がその金の有無 が出来ないので、拾つたら 衛生 工事の御用命は 関係は……解屋へ 連市監部通一〇九番地

石

一番 一〇日田 岩雪

緊縮節約の折柄

御食事は主極清新の物た特に選擇して差上げます 噂をモットーと致します 特に宿料の勉強で親切可 信機町 屋

西伯利へ 兩國の國交險惡化す 强制移民

た、この揺瞰に反應なきさきは國際職職に脱へる棉織でソウエート、フィランド間の國家は搬搬さならる避聴を住は前代未聞のものなり」と觀路も政府奮展もソウエート側に腹で揺瞰を提出するに至つンランド人た政策、シマリヤ地方に強制能に移住せもめたがこの報道に本國フィンランド國民は『か『ハルビン特體十日藝』へルシングホルスよりのラヂオによれば最近ソウエート政府は終一萬人のフィ

代表北行國際議員會議

た。これがため紹展世界一般に砂ない。これがため紹展世界一般に砂ない。 れてゐる。目下ドミンゴ共和國並 に秘密にした協定に加入すること た動談してゐる、なほ署名國は委 た動談してゐる、なほ署名國は委 だは九日途に数馬、瓜哇、ドイツ たば九日途に数馬、瓜哇、ドイツ かれてるた世界産糖は随倉舗の結 かれてるた世界産糖は随倉舗の結 ハンガリー、ベルギーそれんしの 対したが、語る
 対したが、語
 対した 時生卵車で生行、シャリー郷曲出版する二党的と深足鬼は九日十五年の一党的と深足鬼は九日十五年の際上院議員會議に代表さして出 数二中本契約成立さ共に直に着て。 数二中本契約成立さ共に直に着て。 数二中本契約成立さ共に直に着て。 数二中本契約成立さ共に直に着て。 数十年本契約成立されてあったが、 は、

祖始の界業信興洲滿

日報

満鐵の社債募集

今は時期が悪い

そんな計畫は無い

齋藤總督微恙

電車京特電十日盤】 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は 「東京特電十日盤」 変藤總督は

十一日午前八時半

東洋コンプレツソル株式會社鐵筋混凝土工の確實なる施工請負者は

(電話四七六六番)

地 興

正確 一級密 一迅速

法務事項、相場表等の決算報告並考査 埠頭及市中在庫數量輸出入品の移動數量

調查 雇傭其他一般事項

滿洲紡績の

統稅善後策協議

日下帝都に然て飛ぶが如く変れても楽劇に、一手傷を取り、無代献宗の窓に、●本紙野歌は「三陸切手三枚」対人の上、本の歌が書になる。

「神の歌外歌歩に、一手傷を殴り、無代献宗の窓に、●本紙野歌が出来る。」

「一手傷を殴り、無代献宗の窓に、●本紙野歌者なる覧明記して。」

「一手傷を殴り、無代献宗の窓に、●本紙野歌者なる覧明記して。」

「「一」といった。

「」といった。

「「一」といった。

「「一」といった。

「「一」といった。

「「一」といった。

「「一」といった。

「」といった。

「「一」といった。

無代層星

カテイ質易

不暗用室

に酸し触く窓に左のスコアで

鉢巻、筋肉の間

歩親は一生脈命だ、本年のお にいっと僚人が吃職してもつい

銀紙張りの大 化粧の若い

賑やかな出帆

天氣豫就

市内登業所六ケ所の内お宅様に最も近い車庫より迅速に配車致します

各營業所共通

へ御用命を

佐藤(後)(六一四)エーフェル

おめ一日延期し九日當地に開か

幸夫妻は九二門司出帆の香

死を急ぐ魂三

を奏であるに春に背いて死を念ぐ

の滿洲旅行をする旨傳へられて

本選手二勝

がラーンフェ

後の目飾質節送は地下鉄

近は地下数百尺の地の反對を行って最

憧れの滿洲旅行

梅幸夫妻明日來連

底より一歩も外界に出めさ云ふの 大塚である、之れは整線所の幸談町目 城内横取夫等終二百名に使つて行れ 城内横取夫等終二百名に使つて行れ はれたもので女坑夫七十三名か弊 である。

移り水野社司十時よりいよ

日本候補生 『ローマ九日日本線智經隊司令 左四司中將以下乘。候補生の内二百五十名は九日中十一本統智經隊司令 左四司中將以口一字駐在吉田大使に伴ばれイタリー第延に参四ヴィクトリオ・エマリーが問の挨拶を言上され

を經て五時電銀遊園の御底所に若マトホテルで賽食午後は各巡幸路 を博士逝去 『北米パサデー九一菱』光三の研究でノーベル 横大は九日雪地で逝去した、享年 横大は九日雪地で逝去した、享年 で、博士はカープランドそ

新一外一名方に 去る二十九

> ンジーと 全卷皆殺人的スロ! 意三六九六八

> > 模 運 縣人

擬

映補 期學 生 生 五月十五日限り 募集 十十 五

今井醫 大連紀伊町二七

専小兒科

沙河口神社

けふのうらる丸

新車揃ひの

見

郊

ドライブには

東書機総満 底代郷一行九十六名、 東書機総満 底代郷一行九十六名、 東書機総満 底代郷一行九十六名、 東書機総満 底代郷一行九十六名、 東書機総満 底代郷一行九十六名、 東書機総満 底代郷一行九十六名、

頭好試

一般のためが20つもりが却てグッス 戸郷へ手間を加へたさころ齢りに必 宮郷既態にあるた髪見無常り降師を

産兒制限

上には自分で書いた歌名が祀って本人は光わ銀であったらもく机のいたけとなったのであったらもくれのい

あった

頭痛じ

備常庭家

唇劇王チヤツプリン君 御前出演を簡單に拒絕

英國では始めてのこと

泉の太皷が飛んだ 大連繋が飛んだ 大連繋が飛んだ 大連繋がも中島保管出級極親を選 一何れも假名が起き がたが自然の原題は昨日精博で出 がたが自然の原題は昨日精博で出 がたが自然の原題は昨日精博で出 そチンを無下し管 ものらしい

中央卸賣市場改善に伴ひ

0 取

御食膳にも

深にル

なが日黒じ

F.

規則を公布

五

試合を控へそれに堵築の新球場の御目見得さあつて押寄する脚来

質に入場を

0

華運動會

盛大に擧行

殺人が盛況である、例年より一月

「難はどつさばかり外苑に押寄せ各入口を中心に蜿蜒が町に見る外を作り午來に今朝に動りなから薄日と遠れるさ云ふ經好の野球! 和に今朝まで出足

前夜の内から雨の小歌みを窺び球は周園の廻廊に起して夜をく十日その夜日の置え開いた、この日前日の雨で延期さなり

O

业教の先攻で

八蓋を切る

ギリス二勝

各宮殿下御臨場

シートにつき立数の第一打場に時代過ぎ点 驚の披毛神

の氣管支炎を快 市場行為の取締

融倉長順聴堂氏院會の接一个「指角だが御望みに添へ乗れる」に続て撃行された、際會 下からの側希当があつたにも指らをは十日午前八時より大 エテーに出演する機特に英皇帝陸下からの側を当があった派へ乗れる

大 坑内に 電域したものであ でもったが、関いてもその後研究の

で部分配の財勢に依つてが気に使用 を取る、 (著名小林式) 孫海コンロは

家の經濟は

が炊けます。さうして其資用は値

煙突男の逆を行

灰礦争議に新戰術

か府に関する今後の彼等の行動を に七甲でよります。 か册子さして東北にも送付して来、際、轄便の大特長を備へてるます か明子さして東北にも送付して来、際、轄便の大特長を備へてるます。 を開いるという。

共産黨連時阻止に利用しようさい

滿篇 久保洋行

あるが、右につきご 誘る

大連神社 の祭典

九時半莊嚴狸に終る 製組合員によって昇がれ加茂に金の瓔珞焼焼たる神鬼は大

可に他かき立つてゐる 東に至って新 四谷が配から 腰緩 成有力な酸糠を養見と押責本部は酸 概は其後郷人酸採中の結果九日深 では、其後郷人酸採中の結果九日深

大いる 川文 振張の為各地に支部長採用高高順品を表する。 東京中日黒 図民教育奨励会

移博牧 全物の紹荷ずしば二妻夜」に絶對に腐敗することはありません ることはありません 御披露の為め當分 一割引ひます 一割引

______ 野球 野球

時は春花 も愈々シーズンさなりました 野球だんごの味のよさ お忘れなく

壹岐町三三電七八八九

必ず皆様のお無に召じます 配達迅速 精育する だんご五本 後本

家族

出張販賣で

電話七八五七番

野球

人會資格滿十四歲以上ノ男女 以上 大連日華自動車學校

週間自動車 団時本校事務所内ニロ頭ニテ申込マレタション 年後 / 部 年後四時より八時年後 / 市工施行)山城町四大連日華自動車學校 〈毎三進行〉自動車智識一般普及 講習會會員募集 城

マヨネーズ アケヒビ

心…二階

#7-1-

連大

社會藥毒本日

クニックにも









++-B 3 で賣出る

テーブル掛 一三

日

から大連劇場で

日

から大連劇場で

中村歌扇觀劇會

中村歌扇觀劇會

販

資

部

日

販

变

-

八連劇場

出演中の

のごろでは大分脈

酒清

も早く再生の大歓喜に接すべきである。

村歌

扇

嗜眠的狀態、ウッラ

の激減健忘症である 気力の有様は記憶力 にない無

眠るでも

紙讀

者は各等

優待割引

後

援

日報販賣部

上からは残のできを見せられる。簡単なくトツカビンを配めが出來ない。これ等は何れも吾人等を退歩させる原因で社会が出來ない。これ等は何れも吾人等を退歩させる原因で社会が出來ない。これ等は何れも吾人等を返歩させる原因で社会を表しても別れても達在ひ、讀者して前見の文意を忘れる。話をしても聞いても達在ひ、讀者して前見の文意を忘れる。話をしても聞いても達在ひ、讀者という。

●衛生装置

會合

電話(長六八九〇番

大連市

THE STATE OF THE PARTY

-Ingrante - Direction

大連連鎖街銀座

ŧ

かさぶつてくれましたので、特乳 と思ったそうで、その太夫の離が さいふけれざ、既はず私の名ん呼 さいふけれざ、既はず私の名ん呼 はうさした穏だった。もしかるた ばうさした穏だった。もしかるた ばっさした。

きに、もう続も成就したやうに懸さいただけで、近占を買はないさ

の構成、それ等は何がな犯罪に伴って

間違へられる で狂人と で狂人と

青柳

日鹤泉水

堂食大階三

らって行くやうな、は

て行くやうな、振ひつきたいいいいなものでなる。現かずうささになってゐる。現かずうささ

を関節する人々が希望歓喜を異へるもの即ちトツカビンだ。 を受い ちに 観とを出る。 に明るい人生へ等く。青年期の最生なき性的亂強から 不快事 に明るい人生へ等く。青年期の最生なき性的亂強から 不快事 に表演を博士権要するトツカビンは之等に悩む人々を一幅し

やうなよい

お前がこの様にして出

同八七八八五•同六•

金条条条名 介肩 三二五六八 一

銀銀步歩金 飛步

八七八八五。同六。△

では、まないのであらう。 要も感じに身が流してくる、時夜のやうに様々の続きをいめてあらう。 要も感じられた対的のであらう。 要も感じないのであらう。 要も感じないのであられているのである。

顔を思ひ出さうさ

して人思ひ出せない。

呼んでしました。

野が振えて照か

いいないであってしまっ

がみえて来て、一般と響か出す

空炎

隔にひびいて

松●観見英一郎●著多歳一郎

产品料理

三十錢均一 二十錢均一

晩春から初夏

ટ

0

日よりの新名番組

や四日では

得の特殊作用を以て容易く

應用の目的を達

信等方房归了四四速浪市遵太

院醫富

活

は之

n

ありませんばかりでなる

職を慰ひ出さうと骨を折つて見る 「候も強くの強くの他のここ 「候も強くの強くの他のここ

いやら、顔を見られるのが弱かしれか近いさころから襲りだした待

暗

流

加

館

(59

田

離えてゐる。そのほか……」

て下さつて、何かっと 「勿然ないほごお金が儲かり「おゝ」

憂所 ノ洗モノニ

私は六つの歳からさは、 この様な異量のよ たっまして、こうとは思はなかつ 通して、一生た終るのかさおもつ てはどめてこのやうな生き 心かない。 的な活躍を促すの季的な活躍を促すの乗物と同様に積極にも他

化
謝吹案際のい
和ピなは
東
響
・ 作
原
史
女
代
千
野
宇

渡主・子三喜光・吉祐田岩・夫鎌利毛・子弘崎川 の子女婦の下天満やるれき 截塞に 紙間新知報度ー 切封の器ンラムー本的劉絶しび帝を撃の実置狂熱 渡主・介之龍杉月 作原氏五十三木直 記 平太 図 南 ●

井渡

馬隊活阵講

平手審 六段△石井 く変を探しておくれだつた」 戰(其也

機時假典行場一門

頭痛山

三根眼科

醫院

F.

h

そく治療

解松尾如

麗仙

九四七 七一堂 RR

桐簞笥

ア家具店

家具店

60

100

無つても體の自由が を現代人は、仕事に 対して甚じく無關心 を現代人は、仕事に

利ぬと云ふヂレンマ に陥って居る。 例へ 病的早老の兆である

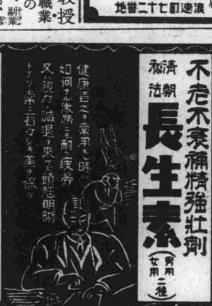
步

一二回の程度ならよい がそれ以上は病的だ がそれ以上は病的だ

早漏だ。前者は月一度の大学の大学では、東京の大学では、東のいかりでは、東の大学では、東の大学では、東の大学では、東の大学では、東の大学では、東京の大学ではではなりではなりではなりではなりではではではなりではではなりではではなりではではなりではのはではではではなりではではのはのはではではではのはのはではではないはのはのはのはのはではではではのはのはのはのはのはのはのはのはのはのは

人は一寸先の事が知れれ、若と之での事が知ったら如何に幸職であらうかが知ったら如何に幸職であらうかが知ったら如何に幸職であらうかが知ったの事が知れれ、若と之での事が知れれ、若と之 靜穩荷物度 新柄 ケンチュウ がちりめん、麻雀 がちりめん、麻雀 は他支那吳服類 悪いまする。 ないまする。 はいまする。 ないまする。 ないまする。 はいまする。 はいまる。 はいな。 はいまる。 はいな。 はいな。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいまる。 はいな。 はいる。 はいまる。 はいる。 はいる。 五月 定 上術 業せぬ人も 九七町速浪連大

なの好職業・週信教授 栈公荥 德 地带二十七町速浪



奠正

トラ

なら

獨、白、各國製

0

素

仙

(松の翠)

滿鲜一手配給元

田中天然常



毒 護 造 製 薬 青 の 確 的 能 効 大連市播磨町二二 (播磨町電停北へ)配給元 佐々木洋行

梶 田

| 版理 | 単月 | 大人人 | 単月 | 大人人 | 単月 | 大人人 | 四九 | 一〇 | 四九 | 一〇 |

ع

光烟醫院 電話tong

常 盤號額 號分店

櫻井內 科

内科專門 醫院

三河屋

生 ミタテ 玉子 數為町

禁弘阿平金小東中甲山 曾本泰久澤川 成 商文時 祥祥商商商 夫商 會堂店行行行店堂會

酒 記店

元

満西ジュラッシア蓄音器新型 一年人氣を博せる

九三二

युद्धी

本 神 神 花 久子主演 でフ

明らしきイット 一大学主演

食部の進出…

折詰花見辨當 の盛況有難 〈御禮申上ます お花見の時期になりました

位本側樣客御對絕



最最新高 00 味質

溶け工合程良く

溶け崩れず

優秀至康

低廉なるものであります。

達用衛耆內宮 元遣製ーダイサ矢ツ三 社會式株泉體酒麥本日

五月の太陽

●ミックん絵を使った浴後の感から得られます。 「大きしく整へられ、さつばりとして氣持は、真に がに美しく整へられ、さつばりとして氣持は、真に がに美しく整へられ、さつばりとして氣持は、真に がに美しく整へられ、さつばりとして氣持は、真に 変やかとなるのであります。 変やかな心地は、優秀

のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、特に支持には、近日のが、大田のが、特に支持に、大田のが、特に支持に、大田のが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田ののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののが、大田のののでは、大田のののでは、大田ののでは、、田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、、田ののでは

池田小兒科門醫院

顔面と

肌膚と 毛髪との

〇ミッワ石絵

日來ます。の目的に使用する如何なる額でも倒希認適りのもの

葡萄酒なら蜂

とを讃へられて居りますとを讃へられて居ります。

證店商衛兵利藤近盤

で決して溶け崩れることなき特徴があります。一般分を残すことなく、尚泡立ちはよく、中途、川膚毛膚を害ふことなく、サラリと落ちて石川膚毛膚を害ふことなく、サラリと落ちて石川のように流になる純石酸たることは勿論、特

特にその緩和なる作用



0

湯崗子 各館共御好次第御申付通如何樣 汽車賃往復三割引 回侵五割 にも簡易安價に勉強致します 丁溫泉 團體五割引

宗像建築事努所

宗像主

电話二二二五五十二二二六六番

大連市連鎖商店街広小路

物力ルカン饅頭紙が開発がある。 カン龍河山外警備番音に関係が外流行法ダイマル菓子店に関係が外流行法ダイマル菓子店に にんしんあんま 乳もみ其他腰痛手足の痛む御方様 は御來堂下さい 大連市美濃町二五電六六八八 大連市美濃町二五電六六八八

千山登山に家族會に遠足に陽春 行樂の最好地講洲第一の靈泉場

永井婦人醫院

御友

存也?

頭痛には

シ

電話三六六六番

天产 聽好銀座在

入輸直託委品商國各 フオルスター 獨逸最高級 ピア

化粧品其他如何なる商品にて農業用機械 文房具、寫真機、 機械、金物材料 主要代理商品

東京 0 丸 見 屋



增稅反對 北支當業者打擊

橫暴非難 松江航運聯合

以て報告に至って或は昇進に連れる のではないかさ思はれたが、知事 明も同じく太田整御總督の推蔵を がないかないではれたが、知事

を が最さなり今回版 が最もなり今回版

一三等古髪者さして同じく知事候# 者の一人である、疑り小心原之助 氏は故精谷養三氏の女螺たるがた とはあたして心るが政局刺激の乗る 生活かして心るが政局刺激の乗る 生活かして心るが政局刺激の乗る 生活かして心るが政局刺激の乗る を持つて復活するものさ

管で、特性でなり、特性でなり

關東廳官吏

夫々豫期の通りに榮達し

一道の光明を與ふ

小理に一道の光明な異へた観があ

港灣協會一行 きのふ營口視察

高

國際商議大會にて

愈よ開催に決定

名で日本水産組合を維持し続いる

國際銀會議

「ヒポサルシンロイ」の體驗

實効

百の理論より

前京都府堀川警察署長

地方警视 佐野一男氏寄

と 直線派等の如き老頭見組は今や世 直線派等の如き老頭見組は今や世

那っには

沙州

满

の新輸

出關稅率

率天で最後の御一夜か明かされ

電話』 を対の裡に殿下にはいる御機館 ※りの裡に殿下にはいる御機館 ※りの裡に殿下にはいる御機館

手も足も出な

四十五に引

無力な北支の反蔣派

張合作中は

新稅率一單位江海關銀

+ A

乗のウンザー市に赴かせられる ント・クレーア湖ミエリー湖の ント・クレーア湖・エリー湖の

日はエリー洲畔を西に向はせせ逃晩餐會に臨ませられたが、十

等の進次十日午前八時世分離別 整の進次十日午前八時世分離別 事にて御來海された、縣內末十 本には野崎兵、地方委員各属長 地方事務所長、地方委員各属長 地方事務所長、地方委員各属長 地方事務所長、地方委員各属長 地方等務所長、地方委員各属長

ガラの瀧を御見物夜は當市の飲る会衆國に戻らせられ九日ナイア

おより直に得楽器にて牽班した、それより直に得楽器にて海域東南 おより直に得楽器にて海域東南 が選山において現地側砂楽遊ば され御流智の後午後五時御雕選 日同様現地戦極あり十二日午前 中時三十六分登列車にて海域東南

荒尾小紫粉、小倉地が事務所長、 荒尾小紫粉、小倉地が事務所長、

の観出してゐる、かくて航運職合 紫枕を微吹する考へであの観出してゐる、かくて航運職合 紫枕を微吹する考へであの見込たたすして閉店館産するも 特数に瞬へても附屬地部の見込たたすして閉店館産するも 紫枕を微吹する考へである。その成功を望んで止まれば、明に折衝中であると述べ

者と本令の適用を拒絶するならば 機及でしめす脚続は動すること、 他に現在は突然酸の手を通じ日本 他に現在は突然酸の手を通じ日本 側に折衝中であると連べ何等かの が関いた。 一個に近くても附原地・一般になると、 であると連べ何等かの があると連べ何等かの

調査の結果は大要

月名料の補完税さしてその阿麗 税の改正次第によつては考究の 餘地生するやも知れめが前回既 に減税してあるので目下問題に ならす只營業純益の調査々定方 法は更に研究することになつて

門の整坪に最も

資本利子稅

ール船は題の勢後あり中國領海各

立川警察署長、野口民會長、

同地は影下には九日加奈陀より「ナイアガラ九日發」高松宮、

閑院若宮殿下

Æ 年 六

り一時行きによったがり一時行きに強って変さなったがりが鑑道官が極力慰撫と再考を促むたので福逸も遂に豫定通りか加するこさに決した。 かが鑑道官が極力慰撫と再考を 促むたので福逸も遂に豫定通り 参加するこさに決した。 かを得て始めて成立し、歐洲 大戦以來經えてぬた兩大陸の交 通を復活するに至ったもので、 近時世界交通機關の完備に依り

編送が一時不参加を聖明するに至った原因は() コシアの不能意に飽き足らぬここ() 会議地を歐洲にしたきここ() 会議地を歐洲にしたきここ() 会議が主要なる原因は() こある。が主要なる原因は() こある。即ち昨年始めて開かれた貨物連絡事務管理者である。からに協定が連絡事務管理者である。からに協定が連絡事務管理者である。からに関する言語の結果成立した協定が連絡事務管理者である。

今回の食語に於て第二の難關 は露支間に於て赤解決の東支線 道問題である。東支線道は目下 莫斯科に於て開催中の露支會議 の主要題目さなり、經營の實權 を握る管理局長の構限さへ確定

露支交渉の解決を待つも可なりし當り浦鹽料由のみに適用して

の局部的問題の爲めに會議

列國代表が充分の誠

HA

の稅整理の重點

1

學關係業者へ通達した

青島水產會社

決定権を制限さるゝは當然のこし居らざる今日、その代表者が

ある。その成功を望んで止まれるさするも東純に関する臨時便法を設けるも可なり。要は食膳法を設けるも可なり。要は食膳法を設けるも可なり。要は食膳

で調査研究を急いで 調査研究を急いで

税整幹事案の内容

陸する筈である

中國領海三哩

國民政府通達

和 昭 (版內市)

東支鐵道問題 イツの参加

原因を充分検討し除まするやう原因を充分検討し除まするやう原因を充分検討しなます。不滿の不過についても、不滿の

歐亞連絡會議

社

說

かくては會議の決定が一部實施

的さなりついある

参加各國代表の懸念

減率請願

遼寧省營業稅

けこの種の運動 がしてゐる反響 がしてゐる反響

の運動は動く変及しない。 人が撒布したものできた。では、 のでは、 のでは

り 肥け数されが継軍の鑑潔に具体学 氏を起用すべく目下交渉中である 実備学氏が機器せば裏中に配在し て指揮する智

地の必要に迫られてあた國民政府に第二十一回國務會議の議決に決定したが昨日附を以て出智工。に決定したが昨日附を以て出智工。に決定したが昨日附を以て出智工。

日

滿洲特産物の影響

七十萬圓程度の増税か

稅、地租 の方法を塡箕所の方法を塡箕所であるから資本利子であるから資本利子であるから資本 間接諸税の廢減 高の事質の可否等な研究中であ で清冷飲料就中ポラムネの4税

鳥

公債賣出額を引上ぐ政新運賃政策

満鐵に好意を

示す

樞府改革の難關 議論倒れとなるか ものさ観られてゐる

W グラー社長 『ロサンセ リ手術結果窓く本日途に糸旗に陷 り手術結果窓く本日途に糸旗に陥

安東の木材業者

對策に腐心 柞蠶は打撃少なし

成立說

りをすることになったのは太田線

・ で 「 で は また 職師 の 膵臓 いった な こ がで は また 職師 の 膵臓 か と 一 がで は また 職師 の 膵臓 が 信 られ や れ、鳴れ、不配線を追り搬ふ程祭 近く更に二ッある 補充の 棒子れらこれに比すれば何んのその

金参剛五拾

新 はれてゐる 〈寫真上より久保、黒 郷油 るは聊か軸の家の感があるが之派 はれてゐる 〈寫真上より久保、黒 郷田・西山、金井、大場、小

内地へ轉出した

輸出税は近く公布さる、が路院毛 『天津特體十日韓』南京政府の新

呈送書明説細詳

呼海線借欵

中 『東京十日登』陸軍では機太殿の ・ 大、商長等の五機は途中膨脹に着 ・ 大、商長等の五機は途中膨脹に ・ 大、商長等の五機は途中膨脹で ・ 大、商長等の五機は途中膨脹で ・ 大、商長等の五機は途中膨脹に着 ・ であるこの意見も振眠された能 ・ 大臣の表決機を頻脱すべ ・ であるこの意見も振眠された能 ・ であるこの意見も振眠された能 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされる。 ・ であるこの意見も振いされた。 ・ であるこの。

制度改革の建議案

東京十日登 九日の行政整理等 の定員は國際大臣数に地域でしむ とは被索の関係に做すれば聯問官 の定員は國際大臣数に地域でしむ を登りでは他府組織、議員、駐

東北等の税率は毛総は國内紡織の 東線であるこの理由から飛ご僧徳 に引上られたので北支那の同業は でがあるこの理由がら飛ご僧徳 を始めた

歌を見てある、たどこれ等の諸軍 るるやうであるが大事を取つて形 那 のるのでは、 のるが大事を取って形 那 内亂防止を目的 **廣西代表劉氏、國民會議に提出** 南蔣北張の合作が続く間一六金ルーブルからには、金に応即して了つた、北支一のハルビン特響がには

林層を測量

ウ九十八ルーブル 質物經難像熟緩和の意味で滿鎖に 大型症の九十 した、これは運動を現在の九十 した、これは運動を現在の大地が主東行の ので清鏡に 大地が主東行の 等影響はあるまい 事實上東南行貨物輸送狀態には何 陸軍機で

賑つた遊覽飛行

向の日和に

上藤 芝居に来続は有りませんか 日中 それは國校君でくそうでせ うが、全然和嫌がないわけでは なく、たく締めて居るだけなん

大庭 一時事態に新観が旺んにな 芝原には未練さきにない。

もて

15

ア劇勃與と昻奮

勝始された。こ の子供を消臭したよいメメさんも 電機行第一日は 入りな松端があるかさ思ふさ液山

十六媼の試乘

一般り眼窩は、地唇にが、東京に り長くない、……と云つても矢

『寫真は遊覧飛行の服びハ上)さ愉快な空の旅に大浦定であった

試乘した八十六幅林王氏(下)

中華運動會は十日午後引き横き大連中華音半會主傷の第十回大連

一働いてゐる時分から

目

0

立教奮闘功を奏せず

よノ

平牽制球に挟殺碣石小川三匍土井四球にへ下田は二塁に四球立教チャンスを

勢振はず

二等 小野(慶) 三等 住吉(早) 同 内田(慶) 慶二、五 慶二、五 中島(早)

全滿中學籠球大會

分より引き続き同ペコートにて撃 藤校能滅大倉は十日午後一時四十 原本に変勢門學校主艦の全浦中等

入連二一中優勝

見られ優勝候補卑大の前途に一抹る。

さいたことが非常に 深になります、便等

見られない土地なさ、随分擦しれたものだから、見に無迷にまて無棒ちが起つてには極端にまて無棒ちが起つて

文が とうない ことう 窗

の折れ込んだ脚が本格的に唇に

ち取れつちま

たんでもないのでこれは一寸映れければ不楽の日曜しやが崇ったんでもないのでもはかまたと云ふのでも

驗剂 200

r.

早大八度優勝 對慶應陸上競技に

▲ 国 盤 投 一等 板橋(慶) 四三米〇三 一等 板橋(慶) 三九米八三 三等 票組(慶) 三九米八三 三等 票組(慶) 三九米五〇 慶六、早〇〇板橋(日本公認記録を破る 一等 木村(早) 一米九四人 (大會記錄) 三等 鹿內(早) 慶五、 四分八秒四

慶五、早一

天井を目が

H

拳銃を發射

花見歸りの醉拂ひ青年が

昨日日活食堂の騒ぎ

食堂に潤

鉄た發射したものちもい

▲棒高跳 一等西田(早) 二等 岩本(慶) 慶三、 早三 慶三、 早三 大二米五九

近く滿洲醫學會總會 年研究に従事して居り、全種の内に監修機士を訪めその他各警院で記しては常地流線線上研究所展季科の見ては、生産の研究を表でこの機関を研究が展示がある。 の青年が天井目がけて實際

ス

22283 射ったが、弾丸がまだ残ってゐる からのでも分ながら難いてゐるさい ためでも分ながら難いてゐるさい ひ、午後四時に至るもなほ解が醒 めてたらの模様だったので突然は

第二回廣告祭

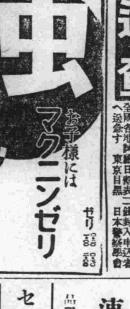
要言を駆動し司として を経て六月四日驅逐艦にて版順着 が選軍大佐田山艦太郎心傳差測選 ばされ同武官は常島、芝罘、天津 が経て六月四日驅逐艦にて版順着 が経て六月四日驅逐艦にて版順着 が経て六月四日驅逐艦にて版順着 が経り、第二割外 侍從御差遣

神京・途に就く豫定であるさ言が傳達も同六日大連養便能に

しのさその脱ぬを讃歎するさ待が?」まさか平常の日やかましか?」まさか平常の日やかましかが崇つたわけでもあるまいが。 翠力 電四四六三掛 否

電話五三七〇

○ 所界の機成大家諸博士指導 ・ 公送会す 東京日黒 日本警察學會 ・ 会院各地試験日期表二銭封入申込者 ・ 会で學、合格確實なり會則並 ・ 会に學、合格確實なり會則並 ・ 会に學、会と ・ 会に學、会と ・ 会に學、会と ・ 会に要します。 ・ 会に要しまする。 ・ 会に要します。 ・ 会に要しまする。 ・ 会に要します。 ・ 会に要しまする。 ・ 会に要します。 ・ 会に要しまする。 ・ 会に要します。 ・ 会に要して。 ・ 会にする。 隨意



数のため国立スキー場。國

変り大師ぎを演じた、その際前 ラーくご瞬覚血をおこし引くり ラーくご瞬覚血をおこし引くり

人座談會 鐵道省の計畫

海水浴

京南二友郡智胜令武锋 二司蔡斯顿大 日下齒科醫院 町盆常新店商領連連大 樹九ニニニニ読電

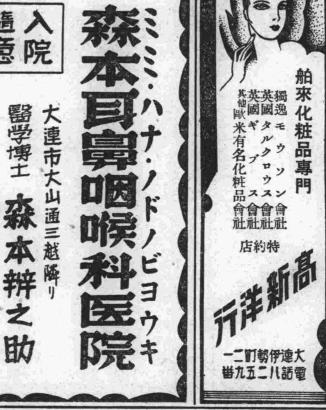
の遺志により御賀退民花等の儀は乍勝手甲族 10

連鎖商店。酯 相場

倉厚 司

品質桝目確實 多少に拘らず配達致升電話ニニー

豆屋



像商録意 断然優秀 價格低廉正に百パーセント ラシ (青任付) 屋間卸 店商助金木荒 結會 目丁一町寺授久南區東市阪大 八三六二・ 〇九〇四場船電 番五六〇六阪大替媛 (星送グロタカ)

王德祥(協志)一二米三 ム四七粒 ニスキー場の開始者たる膨脹数型ウインクラー氏、ロシア大使能のスインクラー氏、ロシア大使能のス

一五點、旅順二中 台五點、旅順 一五點、旅順 一二點、普一二 電の冷込に手足の自由を失った版 一窓の冷込に手足の自由を失った版 大きな、実工業治であり、九日夜に入って異 一窓の冷込に手足の自由を失った版 くだが今朝、九時までの高空記録賞 に二百十四時間等に塗した 二百十四時間

『ワシントン九日餐』アメリカニ 通計十五本の本感打が飛ばされ入 通計十五本の本感打が飛ばされ入 日のホームラン無とに比しホーム 本壘打デー 米のリーグ戦

番00三一京東替振 地番六十町郷六外市京東 部版出校學車動自 ヤイバンエ

號出發延期

何も覺えぬ 醉拂つてゐて

本人の申立て

取調べに難と同人は酸脈とてるたりで何んのため日海貧量へ行ったりのは最ケ浦で友人の秋田蔵育店遺産のは最ケ浦で友人の秋田蔵育店遺産のは最ケ浦で友人の秋田蔵育店遺産のは最ケ浦で友人の秋田蔵育店遺産のは、 定であったドイツ大飛行戦ドツ

江

連 大 店 本

配四多甲安取頭

ム氏日本候 『ローマ九日 年前の日本武士の襲 の籍を五氏 中將はムツソリニーを訪問約四百 中將はムツソリニーを訪問約四百 中祭はムツソリニーを訪問約四百 中の田本武士の襲 の籍を五氏

今年のカン(帽

砥石不要 新聞雑誌 金拾

特許カミソ 各地に販賣店募集 名離貨店

薬店煙草店にあり

發賣元長崎市東濱町平尾商會

酒渍 8 本各地名 界各國酒類 グネ三レー賞 生マン 東京風菓子謹製 ンジ 産 魚ほまれ干 カラ 食 珍 料 00 山邁

。明 業卒月ヶ三 袋十五圓五 位本解 間 質 快 な頭腦こそ 1 常 用 0 賜

を持の事婦で対象の元気 でなしく交換を行けてあるうち彼 がよことを知り色と数で窓に発意 いよことを知り色と数で窓に発意 いまことを知り色と数で窓に発意

木村滿郷。事は八日夜ヤマトホテー車等四窓を連ねへ一般學言林、長春方館の視察の途にある 騙オートバイにつぎ校長後

自動車には降武官さ共に召され前の場所のでは、東京の職を賜ひかれて用意の

馬賊の被害頻々

が戦人交換は使用者瞻に然て概能であるが現在にては支那人で強してあるが現在にては支那人をがな便となったの日総金換録ニート五湾程度を支給とついありとれては支那人では、大力を使しては、大力を使いるが、大力を使いる

主

支那人妻女即死

清水町では人質拉致

祖憲庭氏の計畫

忠魂碑移轉

殘櫻會郷軍が協力して

先づ輿論喚起

輸組定期總會

は、「米は食糧不足のため輸出禁 一でこれを施行するに省政府にて決 にでこれを施行するに省政府にて決 にでこれを施行するに省政府にて決 にでこれを施行するに省政府にて決 にでこれを施行するに省政府にて決 にでした 本安座の映畵 十二日か ・一下で大学ではロシャ映画の文化館 にでいた。 ・一下で大学ではロシャ映画の文化館 にされましる内出理への人々に御下車避 かっコードさ世界に推覧されたトウ にされましる内出理への人々に御下車避 を一が好きの三大篇 にはいましまり職員の御光導で西 ないました。 を一が好きの三大篇 にはいましまり職員の御光導で西 ないました。 を一が好きの三大篇 にはいましまり職員の御光導で西 ないまれる人々で御 を一が好きの三大篇 にはいましまり職員の御光導で西 ないまれた。 を一が好きの三大篇 にはいましまり職員の御光導で西 ないまれたり にはいましまり職員の御光導で西 ないまれたり にはいましまり職員の御光導で西 ないまれたり にはいましまり職員の御光導で西 ないまれたり にはいましまり職員の御光導で西 ないまれたり にはいましまり、 を一が好きの三大篇 とのは、 を一が好きの三大篇 とのは、 を一が好きの三大篇 とのは、 を一が好きの三大篇 とのは、 を一が好きの三大篇 とのは、 とのは、 を一が好きの三大篇 とのは、 とのない。 とのは、 との

新民縣、総州其他十三縣では昨年新民縣、総州其他十三縣では昨年新民縣、総州其他十三縣では昨年

罹災者を救濟

内所であり院の際なのであらうこと行職人が先つ第一に眼をつける して彼等にさつてこれが唯一の案 して彼等にさつてこれが唯一の案

女の

つ武器で

三一年型の行商

▲で駅神の野樂書館 をもの支那人がある がある。 本で駅神の野樂書館

高級社会課の第四十一回見意 を全教 関校長先生五絵 を一覧九重の御菜一巻~満 ・ 一覧九重の御菜一巻~満 ・ 一覧九重の御菜一巻~満 ・ 一覧九重の御菜一巻~満 ・ 一覧九重の御菜一巻~満 ・ 一覧九重の御菜一巻~満

の原叩ツ壊していゝんなら叩い

職期は木島さんの骨立つた手を「木島さん」

傳染病の豫防に

新飲用藥を配付

個かにやつたががいゝ。……」 「木島さんでも呼んで、一つ相談 はこめるんです。

木島さんは多少怖燥づいた眼で

「観象とちやいけないよ」「観象とちやいけないよ」

希望者には無料で

「假しろかう大勢が瞬ぎ立てちゃんだりしてれ」

莫迦れ、こんなさころへ飛びこ

線ケ丘氏はやがて破骸に云ふんで脚、水さくさいやき合って居た

して、襲はれたさ云ふ例の経物を「ごうやら昨夜幽が茶室で仕事を

職區模型 炭層標本等に助き 製品 るオイルセール工製の各種養養型 す

するもので制御されて居る。

閑院若宮殿下

法になすべく戦倫中である 経しなすべく戦倫中である 経しなすべく戦倫の出て委 経が置から接待係が出て委 を対しなで為機震 が出て委

史

(122)

「殿友」は理監部第二師屋の が出験せるもので軍事映画。 が出験せるもので軍事映画。

鐙武 者 CIED

「おんたら見て居られたんちやでしてれっ 繋が子機は答べるんです。 致後子機は答べるんです。

の靴が穿いて銀行、會社のカウン 取消し業は緩人未遂の罪既腱がで数齢の女性が洋服姦にフランス式 説他の紹邦、艦々七日「原枕決をふくらかな耐鬱の概線美をもつた 離癇を召喚出廷せらめ謹人として、 というのない では、 これが安のスローガンです――と これが安のスローガンです――と これが安のスローガンです――と ことは、 をないません。 一日の實收入二十圓

て戸口訪問をする勇敢なる三一年力なる微笑を惜げもなくアチまい クタイ行際に女のもつ存 下谷の金科にあります 下谷の金科にあります で酸店の名刺を出して編 からして編 年 拳銃で射殺せんさしたが急所を脱い へ読歩にこさをよせ誘びき出して、其の絽 慰藉料支拂ひ

九日午後五時中から満銭社員(楽 ▲菱刈歴東軍司令官

理察された、九時五十五分再び電 間)御興味つきせぬものある短く 間楽祭主低第三 既は高雲 技師説

炭坑各所御見學 時間餘に三り 撫順の北白川宮殿下

失業鮮人

總督府愈々乘り出し 關係方面に使傭慫慂

分關設置調查 緑組か紫組か

戦 美鯱で教製から影験の選手が登低な 旅館車務の等であるが過般の學校 日午後六時から儲行社にて披露窓で焼子順は今間近藤基書、関島四郎は焼子順は今間近藤基書、関島四郎は焼きの紫子縦組整の來る十四の焼筒氏さの紫子縦組整の來る十四のの

鞍

地委十日會 総山地が事務所では十二日午後二 地委十日會 総山地が事務所では十二日午後二 公課金審議會

伯野が訊くんです。

たんどやれ一般?」

「も、おいら出る歌らやれえや…

せう。鬼は事代の何より張本人ち

純米國製プランスウヰック

やありませんか。

「兜だちはごこ行つた?」

が、兜の姿はもうそ

東面々々しげに呟くんでした。

日會を開催すびゆうな、一・鬼の脳からか経の手紙ではあると、一時より會議で、一・鬼の脳からが経のがある。

11来較 で脱して降かせるんでした。 18点 11二十名、 家の湾席は中庭の泉水の縁で、 郷 大連 歌からは丁度裏手になつで居るの 大連 歌からは丁度裏手になって居るの まで、口早にかいつま

関「で、その観武者がこの殿の中に しまんでもたっ (の際はうなづくんでもたっ)

日本国の日本もの人で戸棚とめる音 一世でなる日本まちながら年本之り 新入の子供へ出はうれしさう を順 吉川静味丸 クラス會去年の友は母で來る 文化村異人言葉で母か呼び 母親の身なりくづれる子澤山 世親の身なりくづれる子澤山 世時もしくなって城の里舗り の母なりなったは母で來る を順 吉川静味丸 の身なりくづれる子澤山 世時もしくなっては母で來る を順 初郎

柳 壇

責、佐々木波之助)女房おいち (原胤小僧次郎責(下村猿之助)岡引長胤小僧(津村作)館役 本脚本四盟「風小僧」(津村作)館役 十一 日午後七時 賣販賦月

現品先渡此の好期を逃せず

定話 三二一二〇番

田

中蓄音

時 あるが可愛い種見さんが約三十餘 「あ、木島さんが來たり」 自 を報題會を修行する由で常日は午 「殿でも寒さない限り、内臓から」同 音樂法要を径の同三時から説数がないよ」 の前十時より融級製験午後一時より 開けて自分で出て來るのを待つ外。き を報題會を修行する由で常日は午 「殿でも寒さない限り、内臓から」同 のがではて來るのを待つ外。き 二千七百六十一四六十二銭でこの二千七百六十一四六十二銭でこの開家畑名土五十名除た八千代館に招待盛立会に繰入れることに決定千代館に招待盛から開家畑名土五十名除た八千代館に招待盛大なる自戦宴 日清寺遠忌

一 ザワめかしい散集を扱分けて、木島さんを発頭に、自鳥的散 は子夫人、用事があつてついさつ を 龍子夫人、用事があつてついさつ を き下へ降りて行つた翼、それから を 「お、木島さんが來たわ」 ってるましたツけ。やけりそんなってるましたツけ。やけれていましたでせう?……さってるまったのと様ですけれどれ。さつ ものなざこかで今朝見たなどさっ うして氣付いた様に幽を順み

祭舞踊練習第五回、櫛木

奧村家慶事

いつの間にごこへ変か職したんででした。鬼が見えません。職神し 関心だ群集の中を見極すん (奥) 太夫石井中石、三夫先代萩河殿場、政岡忠

の珍しげにゾロゾロと階段た置つ縁ヶ丘になざが、これもなかばも

炭 ワカサ町

電話四四一二・五七二〇

多少に拘らす早速配達致します

計り整父母さんを困らせる 乳香兄の笑顔に母も胸かなで 安東 森谷 仙平 母性でふ邪蟹を捨て得ねエロさか 中の氣も知らず娘は派手に生き 初離へ母の皇にもなつて見生さね仲 底順 岡野 榮丸 母の氣も知らず娘は派手に生き 初離へ母の異から來る内裏 安産へ母子健全い親い酒 末の頬を嫁がせて母ほつごなり 末の娘を嫁がせて母ほつさなり 神口 杏 樹 房 名乗られぬ母はお鶴 抱いて泣き 赤人坊や娘の母話に里の母 いちらしふ母になる娘の初着軽ふ 所言へ母はちよい人(口か添へ 日贔目母は手ぶらの乳母車 市外杉:町阿佐ヶ谷二八九舞寺市外杉:町阿佐ヶ谷二八九舞寺市舞町區丸ノ内二丁目十二番地の際聊訊協會 放送 (五月號) 價五十錢、大油 大連市林海臺二九六番地港 東京林村海區十五輔) 價三十 東京林村海區一九六番地港 東京市芝區新世田町十九 午後,時五十分 一 慣四十五錢、京 特許

第一化學研究所

強精血化 **製造しん病別府林楽** 無効返金藥 いといお米の本地のは **希洲以家申込**の B ASSESSION OF THE PROPERTY OF

地立力減退、生殖機能減退、貧血症 力減退、生殖機能減退、貧血症 純良無比の人参ヱキス 製店にあり、満洲代理店 十日分五四四年編 三二 日本資藥株式會社 智報 業活行

紫檀細工、支那土産品 青任販覧 ロ 文 公 司 株権網工 ロ 文 公 司 内地御土産には最適品

食器類、炊事器具、其他 0 岩里家の家傳秘歌 金物類の研料 としても便 利で經濟な サポールド (強勝引替全部返金 市験・ルド